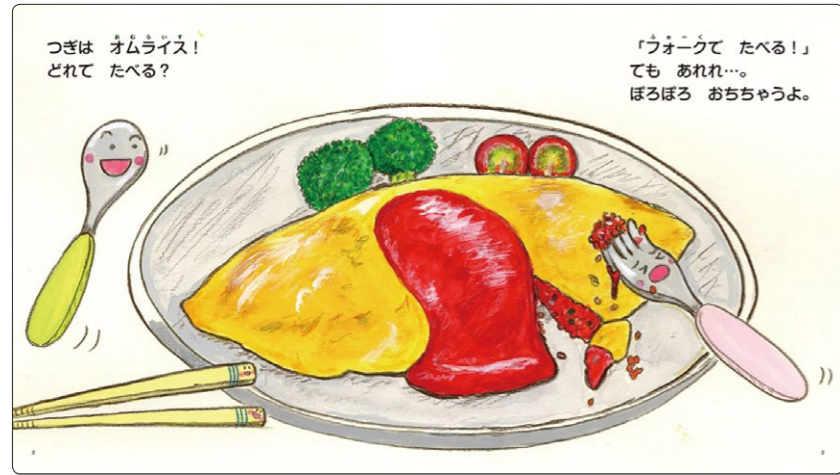


こころえほん

どれで たべる？

●作・絵／平田 景

スパゲッティやオムライス、ラーメン、おにぎりなどいろいろな料理が登場し、「どれで たべる？」と食具を選びながら読み進められます。楽しみながら食具について知らせる絵本です。



つきは オムライス！  
どれで たべる？

「フオークで たべる！」  
ても あれれ…。  
ほろほろ おちちやうよ。

ワンポイント アドバイス

さまざまな食具をつかって食べる料理が登場します。ふさわしくない食具をつかうと、食べにくいことがわかります。箸で食べるとどうなるかな？ フォークだったら？ など、それぞれ尋ねてみてもよいですね。最後のデザートは好きな物を選んで、食べるまねっこを楽しみましょう。

来月号は「きしゃぼっぽ」です。お楽しみに！

キンダーおはなしえほん

おじさんがピンクを すきって へんじやない？

●文／竹村武司 絵／obak

NHK Eテレの人気アニメ番組『アイラブミー』を絵本に！ ピンクが好きなおじさんを見て、主人公のみーは「おじさんがピンクってへんじやない？」とモヤモヤしますが……。「自分の好きなものは、だれかに決められたくない！」と気づきかけになります。



「そうか！ じぶんが すきなものを  
ひとに かってに きめつけられるのって  
イヤな ことなのか！」

「モヤモヤ… さよならモヤ…」  
「みーは いなくなりました。」  
「みーも おじさんが ピンクを すきな へんじやなくて  
きめつけちゃったな…。よし、あやまりにいこう。」

ワンポイント アドバイス

みーは、友だちが好きな色を勝手に決められてモヤモヤしていることに気づき、「自分が好きなものを勝手に決められるのはイヤなこと」だとわかりました。子どもたちにも、そういった経験がないか、だれかの好きなものを決めつけていないかなどと尋ねると、他者への理解が高まりそうです。

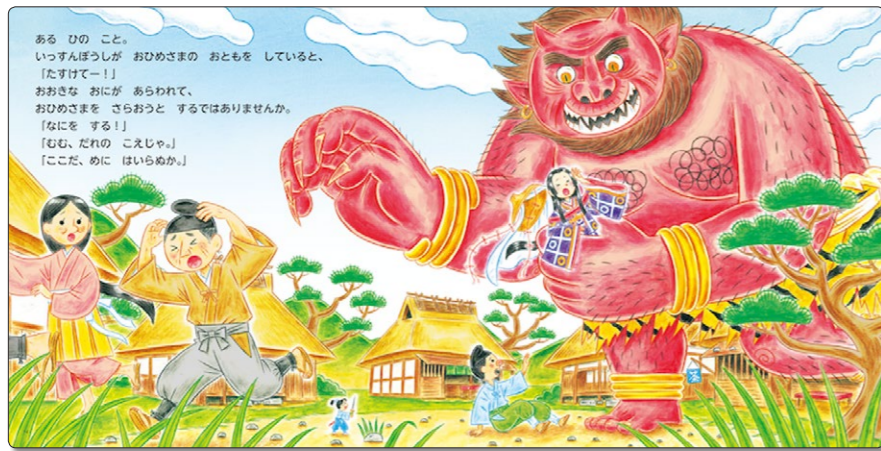
来月号は「4にんの こえが きこえたら」です。お楽しみに！

キンダーメルヘン

いっすんぼうし

●日本昔話より 文／間部香代 絵／たじまなおと

子どもを望むおじいさんとおばあさんのもとに生まれたのは、からだが一寸（親指の半分くらい）の小さな小さな男の子。一寸法師と名づけられた男の子は、ある日都に行くと言い出し、針の刀を腰に差し、お椀を船にして旅立ちます。



ある ひとの こと。  
いっすんぼうしが おひめさまの おともを していると、  
「たすけてー！」  
おおきな おにが あらわれて、  
おひめさまを さらおうと するではありませんか。  
「なにを する！」  
「むむ、だれの こえじゃ。」  
「ここだ、めに はいらぬか。」

ワンポイント アドバイス

お姫様が鬼にさらわれそうになる場面では、まわりの人が逃げ惑うなか、一寸法師は立ち向かいます。小さなからだを生かす知恵と勇気を感じますね。弱点があっても、まわりの人と違いがあっても、前向きに生きる一寸法師について話してみてください。

来月号は「さくらもち さくらもち さくらもち」です。お楽しみに！

キンダーむかしむかしライブラリー

おおきな かぶ

●文／松谷さやか 絵／おほまこと

おじいさんが、甘くりっぱなかぶになれと願いを込めて畑にまいた種。それはそれは大きなかぶになりました。おじいさんが一生懸命引っこ抜こうとしてもかぶはなかなか抜けず、おばあさん、孫娘と次々手助けを呼びますが……。



「ふふふ、おじいさんが  
まごむすめが おばあさんを  
おばあさんが おじいさんを  
おじいさんが おんを ひっぱって、  
「それ、ひけ、よいこらしよ！」  
「やれ、ひけ、どっこらしよ！」  
やっほり かぶは、ぬけません。」

ワンポイント アドバイス

子どもたちは、とても大きなかぶをどうやって引き抜くかという楽しみにわくわくするでしょう。かぶが抜けるまでの劇的な緊張感と、まるで綱引きに勝ったような収穫の喜びをいっしょに味わっていきましょう。読み聞かせでも、リズムカルな語り口でかぶが抜けるまでを盛り上げていきたいですね。

来月号は「みるなの ざしき」です。お楽しみに！